

東京都台東区母子生活支援施設さくら荘における指定管理者の指定の経緯

1 経過

令和元年	7月26日	募集要項等の公表
令和元年	8月30日	募集締め切り
令和元年10月	3日	第1回審査会（対象施設の視察及び審査基準の決定）
令和元年10月	15日	第2回審査会（書類審査）
令和元年10月	18日	第3回審査会（面接審査及び選定）
令和元年12月	19日	第4回区議会定例会において指定の議決
令和2年	2月3日	指定管理者として指定

2 選定方法

外部有識者と区職員による指定管理者選定委員会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について審査をした。区は、選定委員会の選定結果を参考に区議会の議決を経て指定管理者を指定した。

3 選定委員会構成員

	氏名	役職等
委員長	西 智子	日本女子大学家政学部児童学科特任教授
委員	角田 淳	中小企業診断士
委員	山勝 幹之	弁護士、人権擁護委員
委員	寺島 紀子	地域代表（台東区民生委員・児童委員）
委員	福田 健一	企画財政部経営改革担当課長

4 選考基準

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点	
①団体の実績・安定性	団体の理念、経営方針等	応募団体が、区の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営に対する理念や基本方針を持っているか。	
	類似施設の管理運営実績	類似施設の管理運営の実績を有しており、成果を上げているか。	
	物的・人的能力		事業計画書に記載された業務を遂行するために必要な人的・物的基盤を有しており、または確保できる見込みがあるか。
			施設の管理運営に関する専門的知識や資格、経験を十分に有し、かつ、熱意や意欲を持っているか。
	団体の財務状況	安定的な運営が可能な財政基盤があるか。	

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
②区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。安全、快適等が念頭に置かれているか。
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
		有資格者などの配置は適切か。
		労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。
③サービス向上への取組み	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のために有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	自主事業	自主事業の内容が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。
		現実的な収入見込みであるか。
		支出の抑制が図られているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
		施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
		複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
		施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
④運営効率化への取組み	管理経費の効率化	効率的な運営を行うための実施可能な提案があるか。
		管理運営に支障が生じない、現実的な経費見積もりがなされているか。

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
⑤危機管理・安全確保の取組み	緊急時対策・防災対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
⑥職員育成の取組み	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。
⑦その他施設固有の性質等による項目	入所者・退所者に関する支援	個々の入所者に合わせた支援計画に基づき、具体的な支援（就労支援、生活支援、学習支援）がなされているか。
		退所者に対するアフターフォローは適切に行われているか。

5 審査結果

(1) 得点

審査項目		配点	指定管理者候補者
書類審査	①団体の実績・安定性	100点	84点
	②区の求める管理水準の確保	100点	76点
	③サービス向上への取組み	125点	102点
	④運営効率化への取組み	25点	16点
	⑤危機管理・安全確保の取組み	50点	46点
	⑥職員育成の取組み	25点	21点
	⑦その他施設固有の性質等による項目	100点	82点
	書類審査 合計		525点
面接審査	①団体の実績・安定性	25点	21点
	②区の求める管理水準の確保	25点	20点
	③サービス向上への取組み	50点	42点
	④運営効率化への取組み	25点	17点
	⑤危機管理・安全確保の取組み	25点	22点
	⑥職員育成の取組み	25点	19点
	⑦その他施設固有の性質等による項目	50点	40点
	面接審査 合計		225点
総合計		750点	608点
得点率%【合格基準70%以上】			81.1%

(2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ・家族支援の視点と共に母と子に対して個別の支援の視点を持ち、状況を十分に考慮した支援を実施する。
- ・サービス向上に向けて、面談以外でも利用者から日常的に苦情等を聞き取り、第三者である実習生などに外部から見た問題点を指摘してもらい、適切な解決に努める。
- ・施設内で毎月行っている避難訓練のほか、こども園や図書館等近隣の機関との合同避難訓練も行っている。今後も大規模地震を想定した訓練を行っていく。
- ・母親が安心して子育てができるように、育児に対する不安や負担軽減を行うとともに、子供の発達段階に応じた子育ての技術を伝える支援をしていく。
- ・退所世帯に対して施設行事への参加を案内して状況把握に努めるほか、子供自身が自分で生活できる能力を身につけられるよう入所中から取り組んでいく。

(3) 選定委員会における主な意見

- ・法人として長年社会福祉に携わり、安定的な運営ができています。職員も知識のみならず熱意があります。
- ・事務費、事業費の削減への地道な努力がされている。
- ・第三者委員の施設行事参加やボランティアからのアンケート実施など、適切な外部評価体制を備えている。
- ・入所者、退所者に対して個別性を尊重した支援を心がけており、退所者の状況把握や交流などアフターフォローの体制を備えている。
- ・施設長と職員、職員と利用者との関係はよく出来ているので、職員間の横の繋がりを強められると更により運営ができると感じた。
- ・高い理念を持っており、様々な事業を行おうとする熱意はあるが、全体を見ながら事業を進めていける法人であってほしい。